繊研教

東京の「ポートランド・スタイル」

米国オレゴン州ポートランドでは、恵まれた環境で仕事や生活を楽しむ豊かな人生〝クオリティー・オブ・ライフ〟が育まれ、人や街を「慈しむ」（愛しむ）社会がつくられている。その潮流は東京におけるライフスタイルトレンドに波紋をもたらしてきた。先般、ポートランド在住の建築家や実業家などと「Tokyo―Portland―Style」（東京の中のポートランド）のテーマで都内を探訪、そこにはいくつもの時代を創造するキーワードがあった。

松本大地／商い創造研究所代表取締役

Study Room

大切な〝クオリティー・オブ・ライフ〟

新たな社会的価値

参宮橋にある「LIFE SON」（ライフ・ソン）は、料理のコンセプトをマウンテンディッシュ（山の料理、山小屋で食べたい料理）と掲げ、環境もサービスもほっこりした奏らかさが広がる。同じ店内には二つの店が併設され、自家製酵母パンのタルイベーカリーと、ポートランドを代表するサードウェーブコーヒー・スタンプタウンの豆を扱うパドラーズコーヒー（最近、原宿と渋谷中間の明治通り沿いに移転）を組み合わせたシェアショップ業態。店内にポートランド発のライフスタイルマガジン誌キンフォーク専属カメラマンの写真がリラックス感をつくり、また隣近所の飲食店同士で互いに出来た料理を分け合うなどのコミュニティーづくりも微笑ましく映る。

浅草橋と浅草の中間に位置する蔵前エリアは、玩具や花火問屋などのモノづくり職人が暮らした街である。昨今はそのクラフト感覚を継承したアトリエやこだわりの雑貨や家具店と共に、住居カフェやデザイナーズレストランが溶け合った新都市空間がつくられている。隅田川のリバービューと古い倉庫をリノベーションした新しい蔵前を代表する二つの施設には、ポートランドの心地よさが漂う。一つは、食とアートの複合ビル「MIRROR」（ミラー）・リバーサイドカフェ・シエロイリオを核に、ギャラリー、サロン、パーティールーム、卓球バーなどが縦横に絡み合う。カフェで街を変える新進気鋭の飲食企業バルニバービによって今まで光が当たらなかった場所、川に背を向けていたビルに対し、新たな社会的価値を生み出したのは、ポートランドのウィラメット川再開発と近しい。

そのミラーのはす向かいにあるのは「Nui」（ヌイ）。元々玩具倉庫だった建物を270円から泊まれる100ベッドのホテル、レストラン&カフェにコンバージョンした。8割近くが外国人旅行者に利用され、1階のラウンジは古い大木、ピアノ、アンティーク家具に囲まれた癒やしの空間になっている。ここのフレンドリーなホスピタリティーはポートランドにいるかのような錯覚に陥る。

浅草に近い田原町にある「イリヤプラスカフェ@カスタム倉庫」は、ドレス倉庫をコンバージョンしてカフェとイベントスペースにあつらえた。オーナーの女性自らポートランドでアンティーク家具や調度品を調達し、1年半前に開業した。気持ちの良いカフェがあることで近隣の人が寄り集まり、コミュニティー力が高まるとオーナーは話す。実はコンバージョンはポートランドが最も得意な技であり、建物の用途を変更して古いものに新しい命を注ぎ、現代風によみがえらすことにたけている。倉庫や住居だけでなく、廃校になった学校をホテルにしたりするのも、古い建物の記憶や味を大切にする土地柄ゆえである。

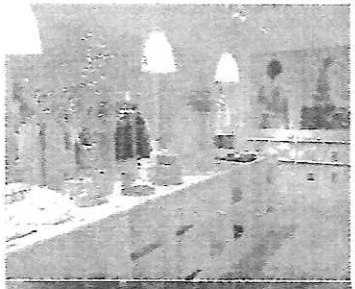
今年4月にオープンした天王洲アイルで、アクタスが手掛けた「SLOW HOUSE」（スロー・ハウス）は、店舗面積が1、2階で合計760平方㍍のゆったりしたサイズのライフスタイルショップ。快適で機能的かつシンプルな暮らしを提案するショップ、運河を眺めながらの食事を楽しめるレストランSOHOLM（スーホルム）も含め、その感度の良さに近隣の住民やオフィスワーカー、外資系のビジネスマンが訪れる。

生活の本質に向き合う

ライフスタイル業態の中には流れや雰囲気を読み、生活者が喜びそうなものをうまい演出で提供しているショップも多々あるが、大切なのは表面を着飾るのではなく、クオリティー・オブ・ライフという生活の本質に向き合うことと、スロー・ハウスからは感じる。

ライフスタイル月刊誌『Portland』にキンフォーク編集長の談話が掲載されていた。生き方が美しい人々との楽しい会話をするために、居心地の良い服を着て、家のドアと心を開き、みんなで集まってテーブルをシェアする。そんなスモールギャザリングという小さな集まりを紹介したのが発端だった。背伸びをしないで、個性を大切にする生き方、それに合致する商品づくりや心地よい空間、サービスこそ真の豊かさをつくっていく。しかし、根底には「慈しみ」が流れることは欠かせない。そして自分たちの仲間やコミュニティーだけでなく、命あるモノを大切にしていくことを東京の中のポートランドも訴えていた。

すべての人が自分の居場所と仲間を持って心豊かに生きる社会づくり、ファッションや飲食の果たす役割は大きい。



私たちは便利でぜいたくなことが豊かさだと錯覚してきたのではないだろうか（㊤＝スロー・ハウス、㊦＝イリヤプラスカフェ@カスタム倉庫）

まつもと・だいぢ　SCマーケティング、プランニングから業態開発、プロデュース業務を推進。専門誌や業界紙での連載やFM番組のパーソナリティーの他、大学でのマーケティング講義やIFIビジネススクールでは次世代商業施設戦略講座を担当する。著書に「最高の商いをデザインする方法」（エクスナレッジ社）など。